

3学年だより

～ 今週の言葉 ～

『夢見ることができれば、それは実現できる』
ウルト・ディズニ

令和 3年 2月 5日(金) 発行 第37号

卒業生に贈る 「復興を考えよう」



卒業の日が近づいています。

先日の職員会議の議題は「卒業式」ー 学校で最も大切な行事です。コロナ禍で迎える卒業式には、様々な制限がありますが、それでも、みなさんの門出を心に残るものになりたいと意見を出し合いました。

卒業文集に寄せる原稿も書き始めました。「何を書いてよいのか分からない・・・」という言葉を目にしましたが、その真意を紐解いてみれば、「何を書いてよいのか分からないほど、たくさんの思い出に彩られた日々・・・」ということであるとします。友情、成長、努力、感謝 etc・・・自分の三年間が思い出されるような文章を書き上げてほしいと思います。

卒業式の頃になると思い出すことがあります。10年前のことです。県内中学校の卒業式の日「東日本大震災」が起きました。経験したことのない大きな揺れと恐ろしい津波・・・午前中の晴れやかな気持ちはいつぱんに吹きとび、おりしも雪まで降り始めて、不安な気持ちに襲われました。

みなさんはまだ幼稚園や保育園に通っていたときでしょうか？みなさんの保護者はきっとみなさんのもとに駆けつけ、無事な姿にほっと胸をなで下ろしたことでしょう。そして、水や食料不足の中、みなさんの命を必死で守ってきたことでしょう。震災では多くの尊い命が犠牲になりました。みなさん、これからも生かされた命をどうぞ大切に生きてください。



この10年、人々の想いが復興を進めました。新聞記事を紹介します。

- ①3度目の宇宙滞在をしている 宇宙飛行士 野口聡一さんが、国際宇宙ステーションから撮影した福島県の画像を「がんばろう福島」のメッセージとともに自身のツイッターに投稿しました。
- ②郡山市が企画した、ウェブ上の木の葉にメッセージを書き込んでもらうという「復興のツリー」に、男性グループ、GreeeeNがメッセージを寄せました。「震災から10年 いまなお復興へ向かう道の間には さまざまな方達の想いと歩みがありました。(中略) 美しいふるさとと 歩いていく日々を これからも」



GReeeenのメッセージ

震災から10年、いまなお復興へ向かう道の間には さまざまな方達の想いと歩みがありました。

私達は震災の記憶とそれに立ち向かい続けた人々の^{つよみ}強めめ努力を未来に向けて絶やさず伝えていく事が大切だと思っています。

この復興ツリーの葉のようにひとりひとりの願いが寄り添い合いながら。

美しいふるさとと 歩いていく日々を これからも

♪ 今週の進路情報

①本校では、2月4日(木)と5日(金)に県立高等学校前期選抜について、各高等学校に出願いたしました。(来週、受験票のコピーをお渡しします)9日(火)正午に出願が締め切れ、この時点での出願状況が発表になります。

10日(水)～15日(月)の期間、**出願先の変更**が一人一回に限り認められています。保護者の方々に手続きしていただくようになりますが、その手順等についての「お知らせ」を、来週はじめに配布しますので、ご確認ください。

②前期選抜において面接が実施される高等学校志願者について、8日(月)から**面接練習**を実施します。(原則として、これまで面接練習を行っていない生徒を対象に実施)面接練習計画は教室に掲示しますので、確認して臨んでください。

♪ 来週の予定

8日(月)	バス定期券交付	15:50 頃下校	11日(木)	建国記念の日
9日(火)		15:50 頃下校	12日(金)	14:50 頃下校
10日(水)	短縮・生徒会役員選挙	15:25 頃下校	～登校するのも、卒業式を含めて、あと23日です～	